

サッカーチームの監督から聞いた話をします。

その監督は、何十年もサッカーのチームを見てきて、あることがわかったそうです。監督は次のように言いました。

「強いチームは、必ず〇〇〇〇ができる。」

さて、何ができるかわかりますか。

それは「あ・い・さ・つ」です。

「強いチームは、必ずあいさつができる。」と…

逆に、あいさつができない子供たちが集まった年は弱いチームになるとのことです。

また、監督は続けて言います。ただ、あいさつするだけではだめだと…

「自分からあいさつができないと強くならない。」と… なぜ、自分からあいさつをすると強いチームになるのでしょうか。

それは、自分からあいさつができる人というのは、「気付く力がある人」だからだそうです。

例えば、「廊下を歩いていて、前から人が来ているな、あ、先生だ。挨拶しよう。」と、気付いて、「おはようございます。」と自分から言えます。自分から言える人は、サッカーの試合中でも、「前から敵が来ているな、パスをしよう。」と動くことができるわけです。

自分から挨拶ができない人は、気付かない人ということになります。

「おはよう」と言われてから、「あ、おはようございます。」と、言っている人は、前から来ている人に気付いていなかったということです。

サッカーでいうと、ドリブルをしているときに敵に気付かず、ボールをとられて、「あっ。しまった。」と言っている人と同じです。

あいさつを自分からすると、「気付く力」を身に付けることができます。それは、サッカーだけではなく、野球、バスケットボール、ラグビー、どんなスポーツ、もちろん勉強にも、お友だちとのかかわりでも、どんな仕事をするうえでも役に立つ力です。

ぜひ、今日のこの時から意識して取り組んでみてください。